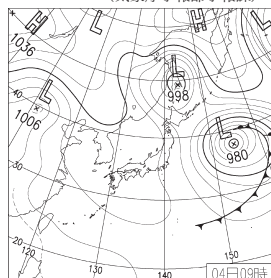


日々の天気図

— No. 135

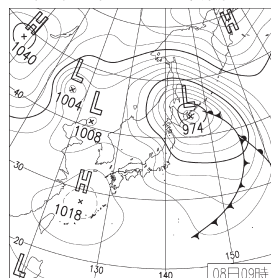
2013年 4月

- ・6日～8日、日本付近を急速に発達しながら通過した2つの低気圧の影響で、西～北日本の広範囲で大雨や暴風。
- ・21日、強い寒気の影響で、西～東日本中心に顕著な低温。福島と長野では1961年の統計開始以来最も遅い積雪となった。
(気象庁予報部予報課)



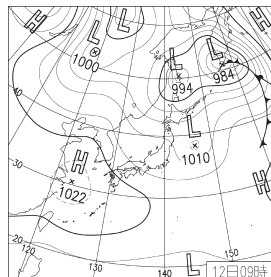
4日(木) 高気圧に覆われる

西～東日本は高気圧に覆われて晴れや曇り。北日本や北陸は気圧の谷の影響により一部で風強く、曇りや雨。高気圧の縁の沖縄は雨。金沢市・富山市・仙台市でタンポポ開花。



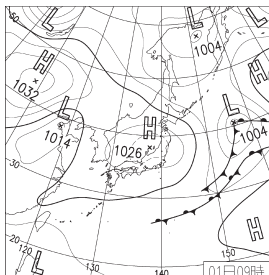
8日(月) 北日本で暴風続く

北日本を中心に暴風続き、宮城県名取で最大風速26 m/sなど、東北太平洋側の各地で観測史上1位を更新。北海道えりも岬で最大瞬間風速39.4 m/s。福島市でサクラ満開。



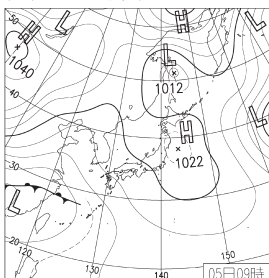
12日(金) 低温持続

北陸～北日本では気圧の谷の影響で曇りや雨。西～東日本の太平洋側では、高気圧に覆われて晴れ。最高・最低気温は沖縄で2月並、西～東日本で3月並。新潟市でサクラ満開。



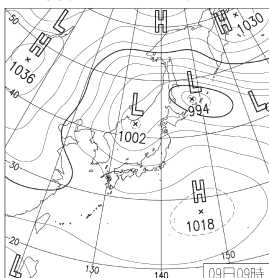
1日(月) 穏やかな新年度幕開け

日本付近は高気圧に覆われ日中は概ね晴れ、南西諸島では雨や曇り。最高気温は、西日本で平年より高く、その他は平年並か低め。前橋市・水戸市でサクラ満開。



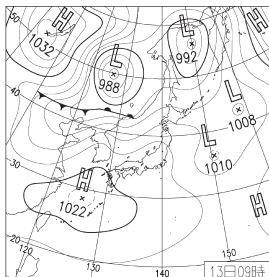
5日(金) 西～東日本で気温上昇

高気圧に覆われ西～東日本、北日本で晴れや曇り、沖縄・奄美は前線により雨や曇り。関東以西は南からの暖気により気温上昇、日本海側を中心に最高気温が6月並に。



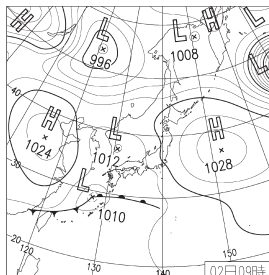
9日(火) 各地で西寄りの強風

低気圧が日本海を北東に進み、北陸～北日本で午後以降に雨、九州～関東は晴れや曇り。西寄りの風の強まった所が多く、岩手県古市川井で最大瞬間風速29.9 m/s。



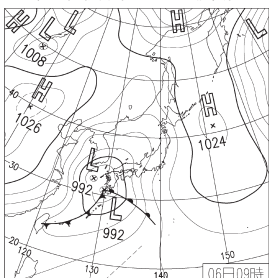
13日(土) 淡路島で震度6弱

北日本は曇りや雨。その他の地域は移動性の高気圧に覆われ概ね晴れ。兵庫県淡路島付近を震源とする地震発生。M6.3、最大震度6弱。山形市でウメ開花、ウグイス初鳴。



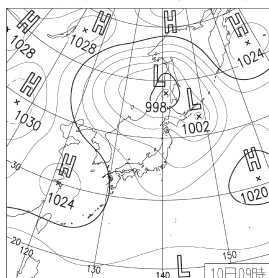
2日(火) 西日本～東日本で雨

西～東日本は前線を伴った低気圧や気圧の谷の影響による雨。関東では高気圧の縁に沿って北上した湿った気流による雨も。静岡県松崎で33.5 mm/1h。福井市でサクラ満開。



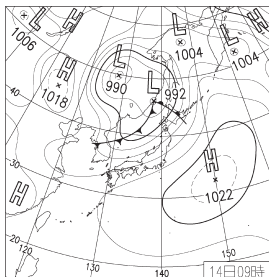
6日(土) 全国的に大荒れの天気

発達する低気圧により各地で暴風、西～東日本太平洋側で猛烈な雨。徳島県阿南市蒲生田で最大瞬間風速34.1 m/s。神奈川県海老名で観測史上1位を更新する102 mm/1hの雨。



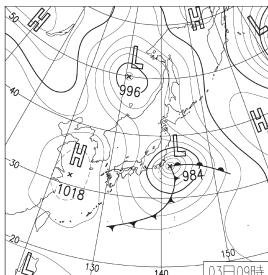
10日(水) 南西諸島、西日本に寒気

寒気を伴った上空の気圧の谷の影響で、西日本、沖縄・奄美を中心に寒気が流入。沖縄・奄美、西日本～北日本の日本海側中心に曇りや雨。最高気温は西日本を中心に2～3月並。



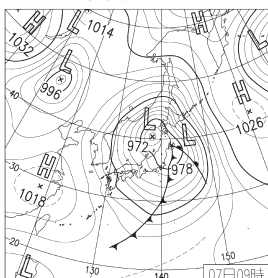
14日(日) 各地で強い南寄りの風

寒冷前線南下、西日本～北陸、北日本で雨。前線に吹き込む南寄りの風強まり、山陰～北陸で最高気温が6月下旬並に。松江市西津田で最大瞬間風速29.9 m/s。福島県で震度4。



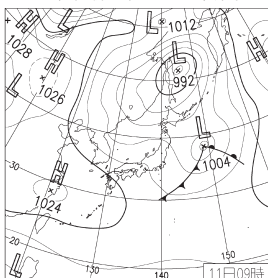
3日(水) 関東～東北で春の嵐

関東沖で低気圧が急発達。関東～東北の沿岸で風雨強く、千葉県銚子で最大瞬間風速40 m/s、最大風速29.9 m/s、共に4月の1位を更新。神戸市でタンポポ開花。



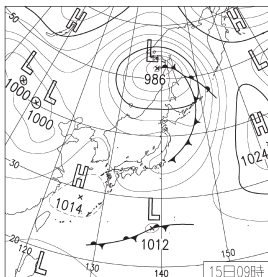
7日(日) 東～北日本で大雨、暴風

低気圧の動き遅く、東～北日本を中心に大雨や暴風続く。東～北日本を中心に大雨や暴風続く。福島県いわき市平で91.5 mm/1hの猛烈な雨、北海道斜里町宇登呂で最大瞬間風速41.6 m/s。新潟市でサクラ開花。



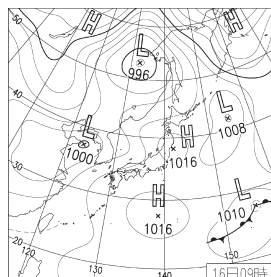
11日(木) 大気の状態、不安定

寒気を伴った上空の気圧の谷の動き遅く、全国的に低温。最高気温は平年を下回り、東北以南で概ね3月並。大気の状態が不安定で、広い範囲でにわか雨や雷雨。

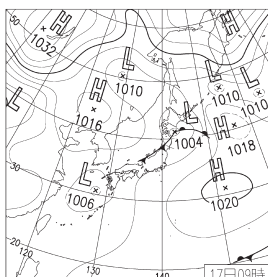


15日(月) 北日本寒気、他は昇温

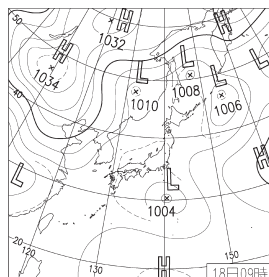
寒冷前線による雨は朝まで。北陸や北日本では寒気の影響で雨の所もあったが、その他の地域では晴れて気温上昇、最高気温が6月並の所も。長野市・仙台市でサクラ満開。



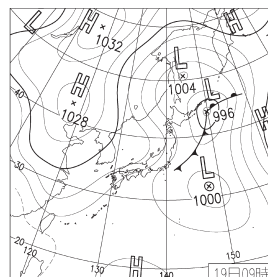
16日(火) 山陰～北陸、7月上旬並
日本付近は概ね晴れたが、日本海の低気圧により北日本は夜に雨、南寄りの風により山陰～北陸で気温上昇、最高気温が7月上旬並に。沖縄県泉国空港で69.5 mm/1h、鹿児島で黄砂。



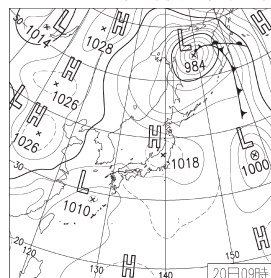
17日(水) 西日本で激しい雨
上空に寒気を伴った低気圧の通過で西日本は激しい雨や雷。長崎県佐岐空港で45 mm/1hの雨。三宅島近海で地震多発、最大震度5強。福島県沖の地震により宮城県で震度5弱。



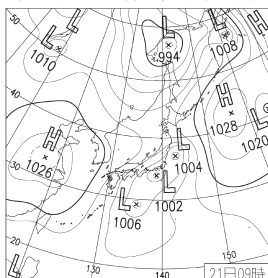
18日(木) 関東以西で気温上昇
北日本を気圧の谷が通過、東北を中心に雨。西日本、東日本は晴れて気温上昇、長野県松本では最高気温が平年より約9℃高い27.5℃、7月上旬並。秋田市でツバメ初見。



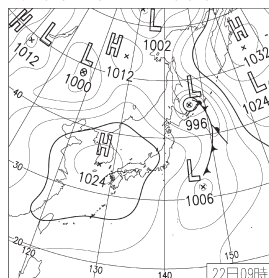
19日(金) 北陸～北日本で雨や雪
低気圧が日本の東に進み、日本付近に寒気入る。北日本～北陸で雨や雪、西日本～東海は晴れ。佐賀・熊本で黄砂。山形市でサクラ満開。千葉県と北海道で震度4の地震。



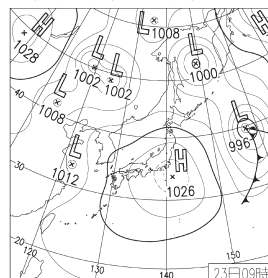
20日(土) 低温が持続
北日本は寒気により雨や雪、西～東日本は気圧の谷の接近により次第に雨域拡大。気温は南西諸島を除いて平年より低く、最高気温は多くの地点で2月～3月並。



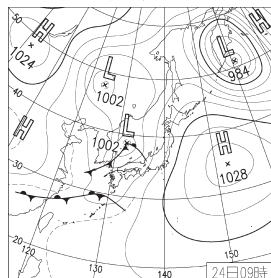
21日(日) 北日本は平地でも積雪
低気圧が北東進し西日本～北日本で雨や雪、全国的に低温となり、北日本の平地や東日本の標高の高い所で積雪。最深積雪は栃木県日光18 cm、福島3 cm、仙台1 cm。



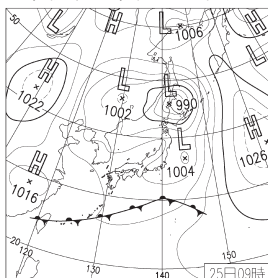
22日(月) 寒気残り気温低め
高気圧に覆われて全国的に晴れたが、低気圧の影響を受けた東北や北海道は雨。上空に残った寒気の影響により内陸部を中心に最低気温は氷点下、最高気温も平年より低め。



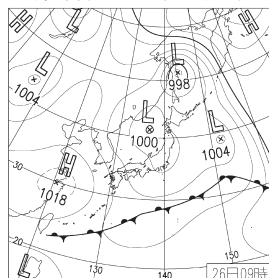
23日(火) 東日本内陸で放射冷却
低気圧接近で西日本は曇りや雨、東日本では内陸中心に放射冷却により気温下降、最低気温は3月中旬並。長野県上田市菅平で最低気温-9.1℃。秋田市・盛岡市でサクラ開花。



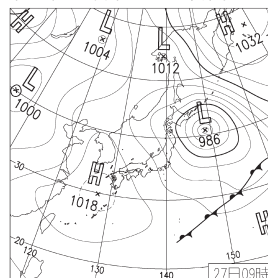
24日(水) 全国的に雨
低気圧や前線の通過により、全国的に雨、西～東日本の太平洋側で大雨の所も。高知県室戸市佐喜浜で29 mm/1h、岐阜県揖斐川の日降水量192.5 mmは5月の1位記録を更新。



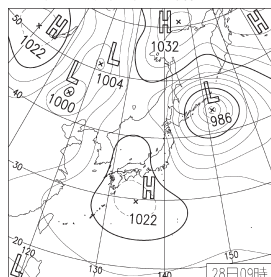
25日(木) 九州～東北は晴れ
関東ではじめ雨が残ったが、九州～東北は次第に高気圧の圏内となり晴れ。北海道は低気圧の影響で雨。沖縄・奄美は前線の影響で雨や曇り。沖縄県宮古島市新城で57.5 mm/1h。



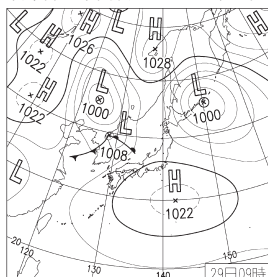
26日(金) ひょうの降った所も
上空に強い寒気を伴う気圧の谷が本州付近を通過し、大気の状態が非常に不安定に。山陰～東北の広い範囲で雷雨となり、福井・宇都宮・福島ではひょうを観測。



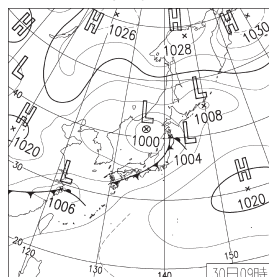
27日(土) 全国的に低温
高気圧に覆われた西～東日本は晴れ、寒気や低気圧の影響を受けた北陸～東北の日本海側と北海道は雨や雪。日中の気温は全国的に低く、北日本では最高気温が3月並の所も。



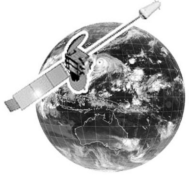
28日(日) 北海道東部は暴風雪
低気圧に近い北海道東部では暴風雪となり、弟子屈で最大瞬間風速29.8 m/s、斜里町宇登呂で日降雪量29 cm、高気圧に覆われた西～東日本は晴れ。高知市でハルゼミ初鳴。



29日(月) 高気圧に覆われ昇温
北海道は、千島近海の低気圧により曇りや雨。沖縄・奄美～東北は高気圧により晴れて、山陰、北陸で最高気温6月下旬～7月上旬並。青森市でサクラ開花、秋田市でサクラ満開。

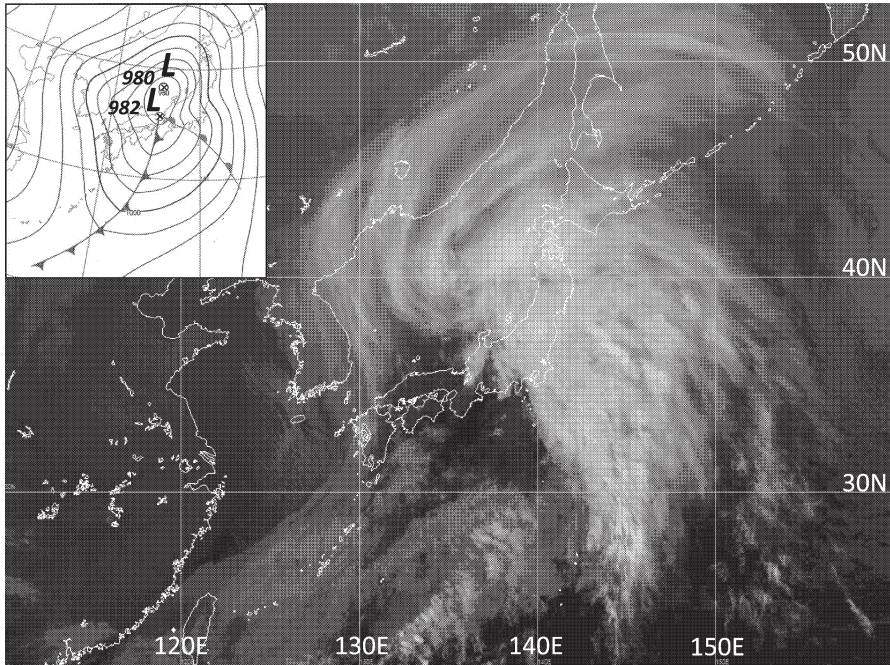


30日(火) 北海道に寒気
低気圧や前線により全国的に天気が崩れ、沖縄～東北で曇りや雨。鹿児島県南種子町上中まで51.5 mm/1h。北海道は寒気により雨や雪となり、最高気温は3月中旬～下旬並に。



今月のひまわり画像—2013年4月

日本付近で急速に発達した低気圧



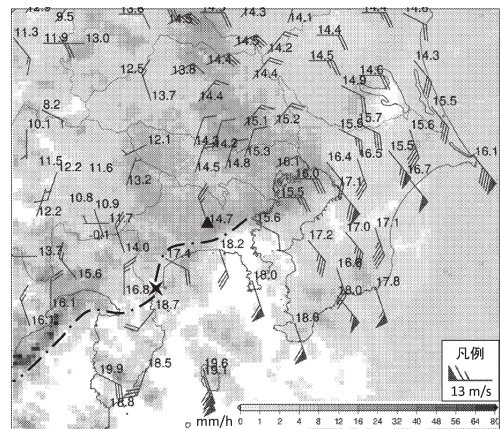
第1図 2013年4月6日22時（日本時間）の赤外画像（左上は同日21時の地上天気図）。

2013年4月6～8日、低気圧が急速に発達しながら日本付近を北東進した。このため、北日本～西日本の各地で強風害、土砂災害、浸水害などが発生し、4名の方が亡くなり、交通機関にも大きな影響が出た。

第1図は6日22時（日本時間）の赤外画像で、左上に1時間前の地上天気図を示した。日本海～サハリン付近に低気圧の発達を示唆するバルジ（上層トラフ前面の高気圧性曲率の流れに対応した上層雲）が見られる。この時刻には、発達した積乱雲は低気圧の北東～南東象限に存在しており、南～南西象限の寒冷前線近傍には見られなかった。

第2図は第1図と同時刻の関東付近におけるレーダー降水強度とアメダスの風・気温の分布図で、収束線（同図一点鎖線）が駿河湾～神奈川県東部付近に顕在化していた。この収束線上の静岡・神奈川県境付近に発生した低気圧（同図×印）の前面では降水が強まり、神奈川県海老名（同図▲印）では22時42分までの1時間に102.0 mmの降水量を観測し、1976年の統計開始以来の極値となった（6日の日降水量は223.0 mmで3位）。

（気象庁予報部予報課 原 基）



第2図 6日22時の関東付近におけるレーダー降水強度とアメダスの風、気温の分布図（記号▲はアメダス海老名の地点、×は低気圧の中心位置、一点鎖線は収束線を示す）。